

フットサル育成普及事業（岡山県開催【女子限定】F S 4 級新規講習会） 活動報告

2026年2月1日

フットサルビーチ部会 柿本大吾

2026年2月1日に岡山県倉敷市で開催しました女子限定のフットサル4級新規講習会に、育成普及事業として、参加させていただきました。



講習会受講生：11名

会場：くらしき作陽大学体育館



講師：倉石氏（岡山県フットサルビーチ部長）、柿本

実技協力：エフロンテ選手（岡山県女子サッカーチーム）

協力：谷合氏（LETIZIA 女子フットサルチーム 監督）
大橋氏（岡山県女子部長）、藤本氏（くらしき作陽大学）
丸本氏（エフロンテ）

参加者のみなさんが全員に下記のテーマをチャレンジしてもらい、フットサルの競技規則を覚えてもらう内容で進められました。

フットサルのピッチの大きさやピッチのマーク
ピッチ上にある「5m」がわかるマークがどこにあるのか、ピッチをジョグや歩きながら探し、
最後は、くらしき作陽大学のピッチの大きさをクイズ形式で行い、大きさやマークを覚えてもらいました。



交代の仕方と交代ゾーンの使い方

交代ゾーンを活用したリレー競争を行い、ピブスを使った交代の方法を実際に体験してもらいました。また、その場で交代違反や交代ゾーン5mの競技規則について説明したことで、参加者は考えながら上手に交代を行えるようになっていました。

5mの距離はどれくらい？

ピッチ内のさまざまな場所に置かれたボールから5mの距離に立ち、メジャーで実際に5mを測定して自分の感覚を確かめました。また、ピッチのマーキングを参考にすることで、参加者は5mの距離感をしっかりと身につけることができました。

シグナルをして笛を吹こう！
キックオフの笛を一人ずつ吹いて、全員がチャレンジ
笛の大きさや長さを意識して、恥ずかしがりながらも
皆さんがチャレンジしていました。試合ではいつも聞いて
いるけど、自分が吹いてみると上手いかなかったよう
で、もう一回してみると言う参加者がいました。



実践形式で笛を吹いてみよう！
ハーフコートや実際のゲーム形式でエフロンテの皆さんに選手役をしていただき、ファウルやキックイン、コーナーキックのシグナル、笛を吹いてチャレンジ。

講師 倉石部長 所感

今回、初めての女子限定の4級新規講習会を開催しました。開催のきっかけは若手審判員および女子審判員の増加が課題であったこと、またチームから審判員資格取得を希望する声があったことによるものです。サッカー審判女子部会及びチームの協力により、今回の開催が実現しました。参加者は全員が現役選手でした。当日は中国サッカー協会より1級審判員の柿本氏が派遣され、豊富な経験や1級審判員ならではのエピソードを交えながら、ピッチを使用した講義を行っていただきました。参加者の関心も高く、非常に意欲的に取り組む様子が見られました。参加者は選手としてフットサルに関わってきましたが、審判員としては初めての経験ばかりであり、真剣な表情で講義を受けていました。講習後には、「実技が楽しかった」「今日学んだことを今後に生かせるようにしたい」「3級を目指したい」「今日うまくできなかったことを練習して改善したい」など、前向きな感想が多く聞かれました。今回の講習会を一過性のものでせず、今後も継続して審判活動に関わり、上級資格を目指してもらえよう、引き続き支援していきたいと考えています。



今回、岡山県の倉石部長のご尽力により、このような研修会を開催できたことを大変嬉しく思います。中国地域のユース審判員および女子審判員は、全国の他地域と比べて極めて少ない状況です。

フットサルの競技規則を単にボールを蹴って覚えるだけでなく、このような研修会を通じて学んでもらい、一人でも多くの方が審判に興味を持っていただければと考えています。

参加者からはさまざまな質問が寄せられ、シグナルがうまくできなかった場合にはピッチの外で練習する姿も見られました。少しでも審判活動に興味を持っていただけたのではないかと考えています。また、ご協力いただいたLETIZIAの谷合監督やエフロンテの丸本氏からも「継続したいね」とのお言葉をいただきました。

来年も継続して開催し、さらに他県でもこのような研修会の開催を積極的に行い、審判員の普及活動を積極的に進めていきたいと考えています。